



経済金融教育

女性が自立して生きていくために必要な金融知識とライフプランの立て方を学ぶ

宮城県・私立常盤木学園高校



写真左/高校生活の2年間にかかった学費や交通費、遊興費などの金額をインターネットで調べて、総額を算出。生徒のお金に対する意識を高めるとともに、生徒にとっては保護者に感謝の思いを抱く機会となった。
写真下/授業を担当する名嘉真梨菜先生が、授業の冒頭に「お金は大切ですか?」と問いかけると、ほとんどの生徒が手を挙げていた。



男女別の平均寿命と健康寿命、男女別・年代別の平均給与額のデータから考えたことを、生徒同士で共有。女性の平均給与額は、どの年代においても男性より低いというデータに、生徒から驚きの声が上がっていた。

どんな学び?

1 授業の内容は?

女性が自立して生きるために必要な経済的観念と、保険や資産運用などの金融知識を学ぶ授業です。ライフプランを作成し、いつ、いくら必要になるのかを具体的に考える機会も設けています。

2 育成を目指す資質・能力は?

自身の状況や社会の変化に柔軟に対応しながら、自分で人生を築き、生活を守る力を育てます。

3 なぜ、この学びが必要?

統計的に、女性は男性に比べて長寿である一方、生涯賃金は低い状況ですが、そうしたことを知らないまま生徒を社会に送り出すべきではないと考えました。

* 1 経済金融教育は、社会で活躍するための素地を段階的に身につける探究型学習プログラム「21世紀『わたし』デザイン」の一部。 * 2 株式会社ベネッセホールディングスとソフトバンク株式会社の合併会社である Classi 株式会社が提供する、学校教育での ICT 活用を総合的に支援するサービス。

生活に必要なお金のことを、 自分事として捉えさせる

本校では2021年度、3年次1学期の「総合的な探究の時間」において、「お金」について考えよう」と題した経済金融教育を導入しました（*1）。女子校である本校の使命は、自立した女性の育成であり、自立に経済的観念は不可欠です。多くの女子校が共学化する中、本校だからこそすべき教育があると考えています。

本単元で育成を目指す資質・能力は、予測不可能な社会においても、変化に柔軟に対応できる力です。日本は依然として男女の賃金格差が大きいという現実と、それに対処する術を社会に出る前に知っておくことで、環境が変わっても、自分の生活を守り、人生を切り拓いていけるのではないかと考えました。

単元は、まず、高校生活にかかる費用やスマートフォンの利用料など、生徒にとって身近な話題から始める構成とし、お金のことを自分事として捉えられるようにしました。そして、賃金や進学費用、保険などについて学び、最後に自分のライフプランを作成するという展開です（図）。

図 「『お金』について考えよう」単元計画(全15時間)

授業時数	テーマ・内容
1・2	なぜ、女性が金融について学ぶのか お金を自分事化する①1・2年次の2年間で かかった費用を計算する
3・4	なぜ、女性が金融について学ぶのか お金を自分事化する②携帯電話を契約する
5	生涯賃金について詳しく知る（性別、職種、 雇用形態、学歴、地域での違いなど）
6	日本の現状、今後の日本について考える （ジェンダー・ギャップ指数 ^{*3} を用いる）
7・8	進学に必要な費用を把握する（奨学金を受け て、1人暮らしをした場合を想定する）
9	保険について（保険が必要な理由、保険の種 類など）
10	よく聞く「ローン」とは（家の購入を前提にロー ンについて考える）
11	悪徳商法に騙されない（悪徳商法の手口や 被害の状況、被害に遭った場合の対処など）
12	ライフイベントにかかる費用について（進学、 結婚、子育てなどにかかる費用を調べる）
13	積み立てについて（iDeCo ^{*4} やNISA ^{*5} につ いて調べてレポートを作成）
14・15	ライフプランを組む

上記の単元計画は、生徒の状況に応じて変更する場合もある。
※学校資料を基に編集部で作成。

これまで、家庭の経済状況によつて、希望進路の変更を余儀なくされた生徒もいたため、お金のことを自分事として捉え、家庭で話し合っほしいという意図もありました。

生徒の気づきを踏まえて、 授業をアップデート

毎授業その日の気づきを「[Case]」（*2）を用いてポートフォリオにまとめさせています。1・2時間目に、男女別の平均寿命や生涯賃金などを示した上で、高校生活でこれまでかかった費用を算出させた際には、生徒から、「今まで以上にお金の使い方方をしっかり考えたい」といった当

事者意識の深まりが見られた感想だけでなく、「女性が働いて稼げる環境をつくりたい」といった社会に目を向けた声も上がっていました。「社会の問題を解決できる人間」の育成は、本校の教育目標の1つです。そうした人間となる萌芽が見られ、うれしく思います。

ポートフォリオは、生徒にとって学びを深め、成長を可視化する有益なツールであり、教師にとっては授業改善のための貴重な資料です。振り返りを見取る中で、生徒の資質・能力の育成に寄与すると分かった仕かけは、すぐに次の授業に取り入れていきたいと思います。



学校改革委員チーフ
植木規裕
うえき・のりひろ

教職歴19年。同校に赴任して16年目。

学校概要

- ◎常盤木学園高等女学校として開校。「自由と芸術」を創立の精神とする。2018年度、学校改革に着手。「自立・自活できる人間」社会の問題を解決できる人間」の育成を目指す。部活動は、サッカー部が全国大会優勝の実績を誇るほか、器械体操部や新体操部、陸上部などが全国大会出場の実績がある。
- ◎設立 1928（昭和3）年
- ◎形態 全日制／普通科・音楽科／女子校（音楽科のみ共学）
- ◎生徒数 1学年約300人
- ◎2021年度入試合格実績（現浪計）
国公立大は、東北大、筑波大、東京藝術大などに11人が合格。私立大は、獨協大、中央大、桐朋学園大、東洋大、日本大、関西大などに延べ150人が合格。

VIEWn-expressでは、
同校の経済金融教育について
さらに詳しく紹介！
「ウェブで見学 学びのnext」
もご覧ください

VIEW n-express 検索

*3 世界経済フォーラムが公表している世界各国の男女間の不均衡を示す指標。 *4 個人型確定拠出年金のこと。毎月のかけ金を自分自身で運用しながら積み立てていき、原則60歳以降に老齢給付金を受け取る仕組み。 *5 株式や投資信託などの運用益や配当金などが非課税になる制度。